

11月に入り、キャンパスも紅葉の季節となりました。Ⅱ期もちょうど半ばを迎えたところで、現ビズ1年生の学生は、Ⅰ期での学びを発展させた学修に取り組んでいます。今回は、現代ビジネス学科1年生のⅡ期の学びを中心に紹介します。

学生による *International Café* がオープンしました

2016年10月25日、学生交流の場として、「International Café」がオープンしました。現代ビジネス学科と経済情報学科の学生を講師として、英語、韓国語、中国語の語学講座を昼休みの時間に開催します。各国のあいさつや自己紹介、日常の会話などをゲームなども交えながら楽しく学びます。10月25日（火）英語講座には、他学科の学生も参加し、英会話を楽しみました。授業とは違い、学生同士で外国語でのコミュニケーションの機会をもち、スキルアップを図ることが狙いです。11月以降、週1回昼休みの時間に、学習支援センターのグループワークエリアで開催します。

授業紹介① 「修学基礎Ⅰ」

大学生活において、また社会人として求められる日本語の運用能力のさらなる向上を目標とした授業です。第1～5回は「聴く力」「話す力」、第6～9回は「読む力」、第10～13回は「書く力」に重点をおいて学び、学期末にレポートを作成・発表し、2年次からの専門教育の基礎固めを行います。第3回目の授業では、ゼミ別に兵庫大学のさまざまな部署で働く職員の方を訪問し、インタビューに挑戦しました。総務課、経理課、学長室など、日ごろの学生生活では接点が少ない部署で、どのような業務が行われているのか、どのような人々が大学を支えているのかを知ることが目的です。翌週の授業で、20分間のインタビュー内容をグループごとにまとめ、報告しました。各グループの報告の中には、仕事の難しさややりがい、兵庫大学生へのメッセージが含まれており、キャリア形成を図る上でもよい学びの機会となりました。

「読む力」を鍛える授業では、日本経済新聞の記事などを題材にしています。1年生の学生にはまだなじみが薄いビジネスの記事ですが、ビジネスへの関心と理解を深める機会にしたいと考えています。



授業紹介② アプリケーションソフト

1年I期開講「コンピュータ演習」を発展させるキャリア基盤科目で、ビジネスの現場での情報処理とその活用を想定しながら、実践的な演習を行っています。今年度はレジャー業界を題材とし、観光業と情報の視点からのアプローチを行っています。ワープロソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトに関するより高度な技術を習得すること、データを視覚的にわかりやすくまとめ、説得力のあるプレゼンテーション資料を作成する方法を身につけることが目標です。学生が提出した課題については毎回コメントをフィードバックし、振り返りができるようにしています。発見と知的好奇心をもって、主体的な取り組みを期待しているところです。



授業紹介③ 秘書概論



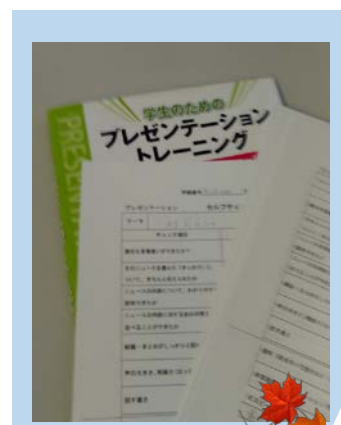
現代ビジネス学科では、全国大学実務教育協会が認定する資格を取得することができます。「秘書概論」は、上級秘書士取得にかかる必修科目です。

ビジネスシーンで必要とされるマナー、礼儀、職場常識をしっかりと身につけ、まずは社会人として（特に秘書などのサポート職として）きちんとした考え方、振る舞いができることを目標とします。その上で、様々なビジネスコミュニケーション（職場での上司とのやりとり、電話対応、来客対応、文書作成など）を詳しく学んでいきます。

最近では特に、学生が苦手とする「電話対応」と敬語のさじ加減の難しい「ビジネスメール」に力を入れています。

授業紹介④ プレゼンテーション

学生生活・社会生活のさまざまな機会に必要なプレゼンテーションの方法を演習により学ぶ授業で、テーマに応じたスピーチや口頭発表ができるようになること、口頭発表でのストーリーの作り方や説得の技術、発表の仕方を理解し、実践できるようになること、ディベートでの立論・反論・最終弁論の作成・発表ができるようになることを目標としています。10月までの授業では、スピーチの仕方を学びました。自己紹介、お気に入りのものの紹介、時事ニュースの紹介に挑戦しました。スピーチの後にはセルフチェックを行います。回を重ねるごとに、手ごたえをつかんでいる様子が見えてきます。11月以降の授業では、研究内容に関する口頭発表を念頭においたプレゼンテーションの基礎を学びます。



Facebook ページ「兵庫大学現代ビジネス学部」にて、現ビズ最新情報を随時発信しています。是非ご覧ください。